

補助事業番号 23-1-092
補助事業名 平成23年度 検診車の整備補助事業
補助事業者名 財団法人 山梨厚生会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

医療による社会厚生事業の一環として、結核及び肺がんの早期発見のための集団検診を効果的に実施するため、平成23年度検診車の整備補助事業により現有胸部検診車を更新し、以て、公衆衛生の向上に寄与することを目的としました。

(2) 実施内容

最新鋭の胸部X線テレビ検診車（デジタル方式） 1台



2. 予想される事業実施効果

従来のレントゲン検診車に比較して利用者の受診環境が大幅に向上し、これにより受診率の大幅な増加が期待できます。

3. 本事業により作成した印刷物 なし

山梨厚生病院の広報誌「ねっとわーく厚生」 検診車導入記事

10.23 災害訓練から学ぶ

災害対策委員会 藤原 忠

当院は関東地域における災害拠点病院として山梨県より指定を受けており、地域災害拠点病院としての役割を果たすために、定期的な院内全体での訓練は必須です。平成21年、22年と連続で「関東地区管内で交通災害が発生し、当院に負傷された方が搬送されてきた。」という想定のもとトリアージ訓練を実施してきました。

今年度も災害時に備えて訓練を継続的に実施することは、院内の共通認識であった訳ですが、そんな矢先に「3.11 東日本大震災」が発生しました。「大規模災害が発生した時、自院を守る・患者様や自分自身を守るためにどうしたら良いのか?」という不安の声が多くの職員から上がったのも無理からぬことと思います。

そこで今年度は「東海駿河湾沖でM7強の地震が発生、関東地区においても震度6以上が観測され、当院も大きなダメージを受けた。」と想定し、訓練該部署を外来、手術室、1-4病棟、リハビリ室の1号館に限定、患者様・職員の避難及び誘導をメインとした災害訓練を計画しました。10月23日訓練当日まで時間がなく、災害対策委員会で一応の訓練の流れを策定したものの、各部署の初動対応の動きについては、訓練該部署署長へ計画立案をお願いしました。各部署からの訓練計画は、災害発生時の救護活動上問題となるであろう事柄の視察に描かれており、山梨厚生病院という組織の一員として災害発生時に常に問題意識を持っていることがうかがえ、災害対策担当としてただただ感心するばかりでした。



10月23日災害訓練を実施した結果から、災害対策本部と各部署との連絡・連携のあり方や指揮命令系統の重要性、災害レベルに応じた本部設置場所の決定、本部員の役割、被害状況の集約と連絡方法、災害被害状況に応じた動き、患者様の状態に応じた搬送必要人員の調整など多くの改善点や学びを得ることができました。その学びを「大規模災害マニュアル」の見直しの検討材料として反映させ、あらゆる災害に対応できるマニュアルの完成を目指していきたいと考えています。そのためにも今後、院内全体が参加する災害訓練を計画・実施することこそが、患者様や病院で働く自分たちにとって安全で安心できる環境を保障することにつながるものと確信した次第です。

胸部X線テレビ検診車を導入しました。

当院では結核及び肺がんの早期発見のための集団検診を効果的に実施するため、平成23年度の競輪（財団法人JKA）の補助を受けデジタル方式による最新の胸部X線テレビ検診車を導入しました。

購入総額は47,250千円、うち補助金額は10,500千円で、平成23年12月より運用を開始します。この検診車の導入により一層充実した検診が可能となり、検診者数の増加にも対応できるものとして期待されます。



ねっとわーく厚生
山梨厚生病院

ねっとわーく厚生

new work

vol. 12
2011.12

財団法人山梨厚生会
山梨厚生病院
〒405-0033
TEL 0553-23-1311
URL http://www.kosei.jp

インフルエンザ襲来!

健診部 呼吸器内科 感染管理医師 成宮 賢行

いよいよ今年もインフルエンザの季節がやってきました。既に予防接種を受けられた方もいらっしゃるのではいなか? インフルエンザにかかることなくこの冬を乗り切るため、インフルエンザ予防方法をまとめました。大変簡単なことですがインフルエンザ予防には欠かせないことですので、是非ご家族と一緒に取り組んでみてください。

インフルエンザと普通の風邪はどう違うのですか?
 風邪は様々なウイルスによって発症しますが、普通の風邪の多くは、のどの痛み・鼻汁・くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もそれほど高くなく、重症化することは稀です。
 一方インフルエンザは38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などの全身症状が突然現れ、併せて普通の風邪症状も見られます。お子様では稀に急性脳症、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発するなど重症化する恐れがあります。

では、インフルエンザにからないためにはどうしたら良いのですか?
 インフルエンザを予防する方法として以下のようなことが挙げられます。

- 1) **流行前のワクチン接種**
 インフルエンザワクチンの接種は、もしかかってしまった場合の重症化防止に有効と報告されており、その為、年々ワクチン接種する方が増えています。
- 2) **外出後のうがい・手洗い等**
 手洗いは手指などに付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するための有効な方法であり、インフルエンザに限らず、感染予防の基本です。特に外出後のうがい・手洗いは感染防止に有効ですので、是非ご家族で心がけてください。
- 3) **適度な湿度の保持**
 空気が乾燥すると、のどの防御機能が低下し、インフルエンザに感染しやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使用して適度な湿度（50～60%）を保つことが効果的です。
- 4) **十分な休息とバランスの取れた栄養摂取**
 体の抵抗力・免疫機能を高めるために、十分な休息とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- 5) **人混みや人の多い場所への外出を控える**
 インフルエンザが流行してきたら、特に高齢の方や基礎疾患のある方・疲労気味・睡眠不足の方は人混みや人の多い場所への外出はなるべく控えるようにしましょう。外出が必要な時は、ある程度飛沫等を防ぐことのできる不織布のマスクを着用し感染の防衛策をとりましょう。

お顔をカバー!
予防が大切、インフルエンザ

「流行」には、「のうまいぞ」
手を洗いグマ!

当院ではインフルエンザ等の感染性疾患の流行期における入院患者様への面会等を制限させて頂いております。入院中の患者様は抵抗力が弱く感染しやすい状態にございますので、発熱・嘔吐・下痢・せき・のどの痛み等の症状のある方は病棟への立ち入りをご遠慮下さいませ。ご協力をお願い致します。

ねっとわーく厚生
山梨厚生病院

ねっとわーく厚生
山梨厚生病院

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：財団法人 山梨厚生会
住所：405-0033

山梨県山梨市落合860

代表者名：理事長 有泉 憲史（アライズミ ケンジ）

担当部署：経理部（ケイリブ）

担当者名：経理部長 飯島 清孝（イイジマ キヨタカ）

電話番号：0553-23-1311

F A X：0553-22-1000

E-mail：kikaku@kosei.jp

U R L：<http://www.kosei.jp/>